

内水面総合センターが考案した人工産卵床(じんこうさんらんしょう)に、九頭竜川のサクラマスが卵を産みました。

ふ化した赤ちゃんを見てみよう！

(九頭竜川サクラマスの現状)

- ・九頭竜川には、全国から多くのサクラマス釣りの人が訪れます。
- ・サクラマスは10月に入ると卵を産むために九頭竜川の支流に上ります。
- ・しかし、支流には、コンクリートの壁や段差でサクラマスが上れません。
- ・また、産卵場の川底には小石や砂利が必要ですが、良い産卵場はありません。

(サクラマスが上れるようにしよう!)

- ・コンクリートの壁や段差に、簡単な魚の道を設置しました。
- ・その効果を漁業協同組合の人や釣人たちと協力して調査を行っています。
- ・平成27年の11月11日には、大きなサクラマスが上りました。



(サクラマスに産卵場の提供!)

- ・産卵場に適さない川底に、内水面総合センターが考案した人工産卵床を設置しました。
- ・その効果を漁業協同組合の人や釣人たちと協力して調査を行っています。
- ・平成28年の10月30日には、人工産卵床にサクラマスが産卵しました。
- ・12月7日にその人工産卵床を掘ったところサクラマスの卵が確認できました。
- ・**全国初の人工産卵床に、天然サクラマスが産卵することが分かりました。**

展示していますサクラマスの赤ちゃんはその卵からふ化したものです！